

豊川市新しい夏の市民まつり第7回検討委員会 議事録

- 1 件名 豊川市新しい夏の市民まつり第7回検討委員会
- 2 日時 令和5年3月29日（水）午前10時00分～午前11時15分
- 3 場所 豊川市役所本庁舎（3階）本34会議室
- 4 出席者 25名（委員10名・オブザーバー5名・事務局10名）

委員：10名

笠原委員長・森下副委員長・長谷川副委員長・中村委員・佐々木委員・
豊田委員・渡辺委員・神谷委員・木藤監事・川村監事

オブザーバー：5名

北村・山本・田中・塩原・佐竹

※武田→塩原に変更

（豊川警察署交通課長：人事異動のため令和5年3月22日付けで変更）

事務局：10名

平賀・鈴木・小木曾・杉浦・木村・望月・若生・滝川・岩田・村上

受託会社：2名

中野・松島

- 5 欠席者 2名（委員1名・事務局1名）

委員：1名

鈴木委員

事務局：1名

松原

- 6 傍聴者 0名（傍聴者なし）

- 7 内容・特記事項

◆事務局

- ・前回に引き続き、公開により会議を進める。
- ・オブザーバーである豊川警察署交通課の武田課長は、令和5年3月22日付けの人事異動により塩原課長に変更となる。塩原課長より自己紹介を兼ねてあいさつをお願いしたい。

(塩原課長あいさつ)

- ・本日、事務局の市公園緑地課の松原課長補佐は所用により欠席。

◆委員長あいさつ

- ・年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。
- ・豊川は桜が多いまち。桜まつりが復活し、観光協会も工夫しながら開催している。そうは言っても桜は減っており、特に佐奈川沿いの桜は減っており寂しく感じる。
- ・新春の初詣、春には桜、夏には市民まつり、秋には新たに音楽イベントを企画しており、四季折々で豊川を楽しんでもらえるよう観光協会では準備をしている。
- ・検討委員会は本日が最終回であり、来年度には実行委員会を組織する。今回も忌憚ないご意見を願います。
- ・オール豊川で成功させていきたい。令和6年度の本格開催に向けて、今日の委員会もよろしく願いたい。

◆協議事項

(1) 新しい夏の市民まつりの基本計画(案)について(資料: 1-1・1-2参照)

事務局: 昨年12月に行われた市議会産業建設委員会で、会議資料とした基本計画

(案)については、前回検討委員会で説明をさせていただいたが、今回の

「資料: 1-1」については、市議会以降に行われた、前回検討委員会で検討された内容も踏まえた上で、基本計画(案)としてお示しをしている。

: 基本的な内容は、前回検討委員会から大きく変わっていない。

: 開催意義、テーマ・コンセプト、概要、スケジュール、イベント内容、駐車場、交通規制、安全対策、警備などについて資料により簡単に説明。

: 打ち上げ花火の打ち上げ場所については、陸上自衛隊豊川駐屯地の協力を得て、参考見積を依頼した煙火会社にも現場立会いしていただき、ステージ会場のスクリーン裏手(芝生広場内)の陸上自衛隊豊川駐屯地内で打ち上げられることを確認した。

: 打ち上げ花火は、2号玉、仕掛花火等を当日の風向きや強さも考慮して資料

の枠内での打ち上げを想定。

- ： 駐車場については、おいでん祭、手筒まつりやトヨカワシティマラソン大会などを参考に設定した。今後、各社へ借用・協力を促すこととしている。
- ： 交通規制については、豊川警察署に事務局・受託者で出向き調整した。当委員会によって内容が決まれば、さらに詳細について調整を図る。
- ： 資料に示されているグルメ・体験エリア等に記載の数字は、実際に現場を見てテント、キッチンカーがこれぐらいは配置できるだろうという数値である。
- ： 警備の当日従事者数の数字は、現在の計画数値である。
- ： 本イベント予算は、5,000 万円、プレイベントは800万円で計画している。
- ： 「資料：1-2」は、基本計画（案）に基づく令和6年度の実施計画（案）である。
- ： 開催内容は、この案を基本に来年度の実行委員会の中で検討の上、決めていきたい。
- ： メディアアートは、県内をリードする名古屋造形大学と連携することで、他の大学も誘致できると考えている。
- ： 手筒花火は、連区などにも呼びかけをして有志グループなどによる放揚を考えている。
- ： 参考見積をお願いした煙火会社に協力してもらい、令和6年度のステージ会場の観客席や陸上競技場スタンドから見えるイメージ資料及び動画を作成していただいた。
　　<動画を見ていただき、イメージを掴んでもらった。>
- ： ステージ会場の現時点での有料席、無料エリアの席数等を説明。
- ： 各会場のコンテンツ等も事務局からの提案内容を簡単に説明。これらの詳細は実行委員会で決定していく予定である。
- ： 豊川警察署からは、安全対策として、無料席のスペースを最大限確保するために、もっと横に広げたらどうかというご意見をいただいている。

委員長：このようにビジュアルになったまとめを見るとイメージが掴みやすい。

- ： 検討委員会では会場の決定などに時間がかかった、またハードに偏ったもの

になった。

：令和6年度以降は、2,000万円以上の協賛金を集める必要があるので、協賛金や有料に耐えられるコンテンツ内容ができるかがポイントだと思っている。

：手筒花火の揚げ手もまだ決まっていなく、連区との調整もまだである。プロジェクトマッピング・映像とのコラボレーションまでは、決まっている、というか今回、案として出てきているが、来年度の実施計画のなかで手筒花火とコラボができて、それで2時間耐えられるか、コンテンツや揚手の話などさらに中身を詰めていく必要がある。また、実行委員会の下部に企画会議を置き、決めていく必要がある。

：実施計画として、ハードの部分はできあがってきているので、来年の夏に向けて参加する皆さんが喜んでもらえるようにしたい。

：皆さんにも確認事項や意見、案などのご意見をいただきたい。

委員：内容について、見せてもらった動画の映像から、楽しみだなと感じた。

：PRを兼ねるが、今週末に赤塚山公園でDJKooさんと呼んで光と音楽のイベントを開催するが、参考になると思われる。いろいろな意味でデータも取れるのではないかと考えている。

委員：スケジュールの中で、明るいと時のまつりと夜のまつりとのつながりが見えない。市民にPRするためにも、昼と夜との一体感のある流れをつくってほしい。

委員長：そのあたりは来年度、ぜひ詰めていきたい。

委員：計画はよくまとまっていると思っている。想定来場者数の延べ7万人に対する対応についても説明いただきよくわかった。

：あと、本当にお金をどうするのだろうかというところを、来年詰めていくことになろうかと思うが、よくイメージができた。

委員：計画はよくまとまっていると思った。

：おいでん祭もそうだが、タイムスケジュールは十分に考えてほしい。空白の時間ができた時に、来場者が帰っていき、遠のいた来場者は戻ってこなくなるので、うまくつないでほしい。

委員長：ステージはステージでいいが、周りのイベントで無料な人を呼ぼうとすると結局、おいでん祭と一緒にということになる。キッチンカーがあり、無料のイベントがあり、子ども達が楽しむとなると……。陸上競技場内の水鉄砲大会などで果たしてどこまで盛り上がるなど、ステージ以外のイベントも皆でアイデアを出していかなければならない。

委員：今までの流れの中で、よく盛り込んでいただいたと思う。

：新しい場所での試みということで、また、コロナが終わり、告知をしていく上で、どこがどう変わるのか、どのようなまつりなのかなど、ソフト的なことをイメージして、考えていかなければならない。

委員長：来年度は、実行委員会だけではなく、企画会議を設けて、月に1回ぐらいの開催で進めていきたい。

副委員長：やってきたことが網羅されていていいかと思う。

：孫をつれていくのには苦しいまつりなのかなという気もするが、そういうまつりなのかと考えればいいのかなと思う。

委員長：皆さんからいろいろ意見をいただいたが、ソフトはこれからということで、願います。

(2) 令和5年度新しい夏の市民まつりプレイベント（案）について（資料：2参照）

事務局：「資料：2（豊川市新しい夏の市民まつり基本計画（案）に基づく実施内容の詳細（案）【令和5年度プレイベント】」により説明。

：令和5年度のプレイベントについては、市制施行80周年の記念事業としての位置づけになるという見通しとなった。イベントには、「市制施行80周年記念事業」という冠がつくことになる。

：令和6年度の本開催に向けての機運を高めると同時に、開催準備としての検証の位置づけとしたい。

：開催は8月26日（土）、予備日27日（日）となる。

：令和5年度は、本開催のステージ会場（新芝生広場）が工事中で使えないため、来年度はできる範囲で対応する。

：花火は令和6年度と同様の打ち上げ場所に対応。

：陸上競技場では、令和6年度の一部の内容を実施。

：グルメ・体験エリアは令和6年度と同じ会場・エリアを想定。

：子ども向け参加型のメディアアートは、名古屋造形大学との連携により、市役所の西の壁面を活用する。

：本来であれば、各コンテンツの詳細についての検討を検討委員会で詰め切れればよかったが、なかなかできなかったのもので、実行委員会・企画会議で早急に詰めていきたい。

：イベント内容、交通規制、安全対策等、令和6年度を軸にして対応する予定。

：費用は800万円を想定している。

委員長：プレイベントの内容が検討委員会でなかなか詰めきれていない。事務局と事業者とで協議してきた。予算も800万円ということで本開催とはだいぶ違うという理解でいる。

：令和6年度の本開催ともう少しリンクできないかと思う。

：手筒花火の煙とメディアアートとの関係性など実験できないか。

委員：市制施行80周年記念事業で「豊川 豊」が活用できないだろうか。

事務局：秘書課に確認する。

委員：ミュージック花火は何分か。

受託者：3分前後ぐらい。音楽に合わせて花火がでてくるイメージ。

委員：27分の間が空くけれど、どうか。合間に手筒花火をやるとか。

事務局：プレイベントの中身は、スケジュールとして詰めきれていない。

委員長：令和5年度は、市制施行80周年記念事業で、市を中心に実施できないかと個人的には思っていたが、市民まつりの方でやるとなると、もっと検討しなくてはならない。

委員：8月の開催となると、時間もないので、この場で決めいく必要がある。

手筒花火は、場所のこともあり、できないのかなと思う。

：全体像が見えないと意見も出せないのではないか。

委員長：検討委員会の中では、本開催に向けての実験をするということを意見として

出すということでしょうか。

副委員長：打ち上げ花火を中心として実証実験としてほしい。各企業が協賛金を出してくれないかと思うが。縮小してでも打ち上げ花火をメインにしてほしい。事務局サイドとしての意見を申し上げたい。

副委員長：花火の件は令和5年度については、花火が少ないかなと思う。

：暴力団排除の関係で公安委員会や警察からの通知が出ているが、図面の中では、屋台エリアがある。市民は屋台を楽しみにしていると思うが、警察としては出店についてどう考えるか。

委員長：その他で、今の件に関する資料があるので、後程のテーマとする。

：令和5年度のイベントでの手筒花火の実施は絶対に駄目なのか。

事務局：手筒花火は陸上競技場では揚げられない。また、ステージ会場となる新芝生広場は工事中で使用できない。これまでに検討に検討を重ね、研究をしてきたが、予算も800万円と限られているので、事務局では不可能だと判断している。

委員長：検討はできると思うが……。野球場などで、手筒花火と映像との連携など、実験しなくていいか。

(3) 令和4年度新しい夏の市民まつり検討委員会決算について（資料：3参照）

事務局：検討委員会決算の見込みについて「資料：3」により説明。

：市から補助金を受けて実施しているため、残ったお金は、市に返金することとなる。市への返金後に木藤監事、川村監事に監査いただく。

委員長：検討委員会の決算なので、皆さんにご承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。承認いただける方は拍手をお願いしたい。

（拍手多数：異議なし）

：この内容にて承認とさせていただきます。

(4) 令和5年度実行委員会及び今後のスケジュール等について

（資料：4-1・4-2参照）

事務局：「資料：４－１」により、実行委員会について説明。

：引き続き観光協会が事務局を司るということもあるため、観光協会の副会長、地元のメディアも加わっていただきたいと考えている。

：これは案であるため、この内容でよければ、来年度早々には皆様に就任のお願いに回る予定。

：「資料：４－２」により、暴力団排除について説明。

：また、今後のスケジュールとして令和５年５月には第１回実行委員会を開催したい。

委員長：スケジュール的には、実行委員会は５月とは言わず、なるべく早く開催する必要がある。実行委員会だけではなく、いろいろな各世代の人が意見できる企画会議を設けたりして、早々に実行委員会を開催したい。

：「資料：４－２」については、ご承知おきいただきたい。

：実行委員会は、新たな人も加わり、オール豊川の体制で進めていきたい。

：実行委員会は、年３～４回程度開催と事務局では考えているようだが、企画会議を別途設けてもらって進めてはいいかどうかと思う。

副委員長：暴力団排除について、適正な対応とはどういうことか。露天商を排除することであれば、いつまでにどのような対応したらいいのかお聞きしたい。

オブザーバー：この件につきましては、県警刑事部が担当しており、豊川警察署刑事課の暴力団担当係にお問い合わせいただきたい。

委員：令和５年度のプレイベントについては、予算が８００万円と規模が小さいことは検討委員会のメンバーはわかっているが、市民は新しい夏のまつりにきたのはいいが、「こんな程度なんだね」となる。「できてあたりまえ、やれてあたりまえ、見れてあたりまえ」が市民側にはある。時間もないので、余計にプレというのをしっかりと伝えないといけない。急がないといけない。

委員長：そもそも本当にプレイベントとしなくてはならないのか。予算的にはプレイベントだということはわかるが、中途半端な開催になってしまうと、市民向けに考えると印象が悪くなるというリスクがある。

：来年とは別の今年の市制施行80周年記念に絡めた夏のイベントをやりましたなら、我々としても限られた予算でやってくださいということだが、この委員会で決定して、イベントをやるというなら、もっとしっかりと検討する必要がある。

：我々はボランティアで検討に関わっているメンバーだが、検討委員会・実行委員会で、結果の責任を取らなければならなくなるのが、心苦しい。事務局が頑張っているのはわかるけれど、もっと会議・検討の進め方をしっかりやって、委員会のメンバーへの合意形成を丁寧に行う必要がある。皆さん、ご理解ください。

：実行委員会の構成メンバーは、この案のような形で進めるということで、よろしいでしょうか。

：特にご意見等もないので、この案を基本に進めさせていただく。

事務局：一年間どうもありがとうございました。

：それでは第7回検討員会を終了する。本日は大変ありがとうございました。